

持続的な食料システムを担う次世代リーダー育成事業

【現状・課題】

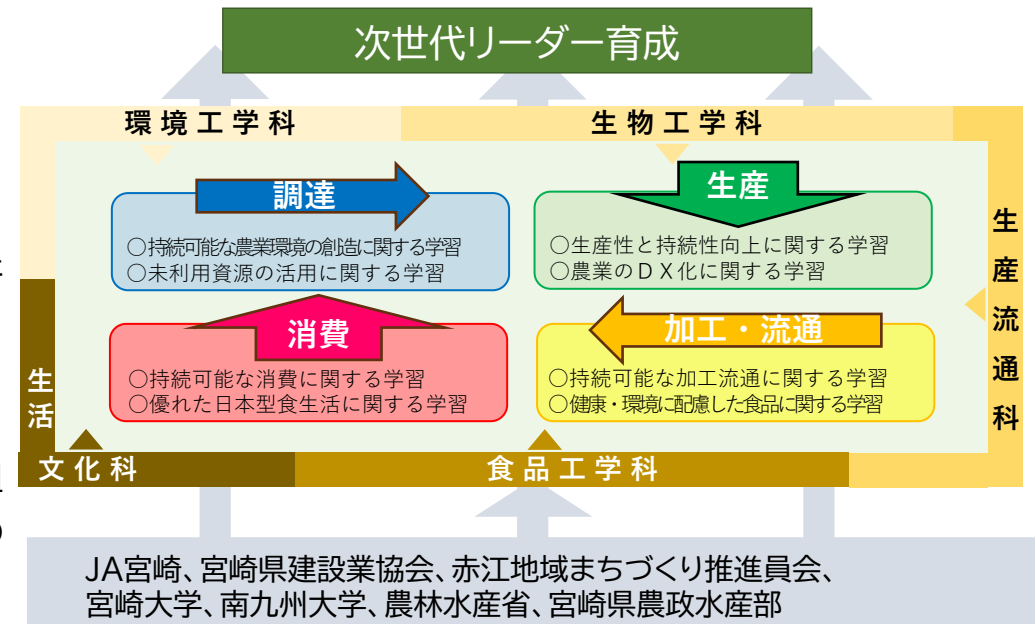
- 産学連携について、組織的な体制が構築されていないことから、一学校、一学科での取組に終始しており、取組の差が見られる。
- 産学連携の取組そのものが単発的で、必ずしも体系立てられたプログラムになっておらず、十分な教育効果につながっていない。また、連携についての効果検証ができておらず、発展的な取組につながっていない。
- 専門の学びを活かした進路を選択する生徒が相対的に少なく、産業界が求める人材育成や確保に 대응することができていない。

【実施内容】 農業に関する学科として「生物工学科」「生産流通科」「食品工学科」「環境工学科」、家庭に関する学科として「生活文化科」を有する。

研究拠点校 宮崎県立宮崎農業高等学校

【主な取組内容】

- ▶ 農水省「みどりの食料システム戦略」に準じた学習プログラムの研究開発
 - * 調達→生産→加工・流通→消費に至る食料システムを基盤とした5学科横断型学習プログラム
 - * 「みやざきアグリプレーヤー」に必要とされる資質・能力の育成を目的に産業界と連携した授業、実習等を実施
- ▶ 海外の農業・食文化に関する学習や海外姉妹校との継続的な取組
- ▶ 県内農業系高等学校(8校)及び県農業大学校、県教育委員会との連携による成果の県内普及促進



【目的】

- ① 産業界と連携した教育プログラムを構築することで、産業界への理解を深めるとともに、絶え間ない変化や潮流を的確にとらえ、自ら課題を見つけられる人材を育成する。
- ② 学科間連携を深めることで、幅広い知識や技術を身に付け、諸課題を主体的に解決できる人材を育成する
- ③ グローカルに視点をおいた取組を実践することで、世界を視野に、地域で新たな価値を創造できる人材を育成する。

持続的な食料システムを担う次世代リーダー育成事業

産業界

大学

行政機関

専門機関

関係団体

民間企業

宮崎大学・南九州大学・農水省九州農政局・県農政水産部・JAみやざき・宮崎県建設業協会・赤江地域まちづくり推進委員会 他

産学連携コーディネーター

- ・産業界等と学校のニーズを基にしたマッチング及び産業界等との調整
- ・連携先の新規開拓及び連携した取組の評価、検証、調整

カリキュラム
アドバイザー

- ・カリキュラムの適正化

事業運営委員会

- ・事業の意思決定、事業評価
- ・産業人材育成プログラムの検証
- ・産業界との適切な連携方策及び体制の在り方検討

県教育委員会

- ・事業運営委員会設置と委員委嘱
- ・事業推進、進捗管理
- ・産業界等との連携体制構築に向けた条件整備
- ・事業の域内普及、促進

連携協定
等の締結

推進委員会

- ・管理全般（進捗、カリキュラム、予算・会計等）
- ・海外の学びに関すること

実践推進部会

- ・取組の総括（進捗確認、校内の連絡調整）

連携取組部門

- ・産業界等と連携した取組
- ・地域と連携した取組

横断的取組部門

- ・全学科横断した取組

みどりの食料システム戦略を
基盤とした学習プログラム

- ▶ ローカルでの学び
 - ・最新・最先端技術研修
 - ・学科横断・協働型学習
- ▶ 海外での学び
 - ・海外の農業や食文化
 - ・国際交流

成果発信

産業界等との持続的な
連携体制の確立

県内高校への
普及・促進

宮崎農業高等学校